

酒造好適米品種「吟ぎんが」の栄養診断基準の策定

酒造好適米品種「吟ぎんが」について、期待生育量である m^2 当たり籾数を確保し、白米中粗タンパク質含有率を適性範囲に収めるための栄養診断基準を策定し、栄養診断値による追肥判断の目安を示した。

1. 栄養診断基準

1) 期待生育量である m^2 当たり籾数(25~28千粒)を確保するための栄養診断値及び簡易栄養診断値の基準を表1、2のとおりとする。

表1 栄養診断指標

項目	診断時期	分けつ期 (6月下旬)	幼穂形成期	減数分裂期
地上部乾物重 (g/m^2)		165~185	390~480	590~720
稲体窒素濃度 (%)		2.0~2.6	1.1~1.6	0.9~1.2
窒素吸収量 (g/m^2)		3.4~4.4	4.6~6.7	5.8~8.1

表2 幼穂形成期・減数分裂期における稲体窒素濃度に対応する葉色及び簡易栄養診断値

時期	測定法	葉色対応値 (葉位: n - 2)	簡易栄養診断値
			草丈(cm) × 茎数(本/ m^2) × 葉色値
幼穂形成期	葉緑素計	33~40	$1.15 \sim 1.45 \times 10^6$
	カラースケール	4.4~5.8	$1.55 \sim 2.00 \times 10^5$
減数分裂期	葉緑素計	-	$1.10 \sim 1.35 \times 10^6$
	カラースケール	-	$1.60 \sim 2.10 \times 10^5$

注) 葉緑素計は、ミノルタ社製 SPAD-502 を使用。

2) 幼穂形成期の栄養診断値(簡易栄養診断値)による追肥判断の目安

